



ロボット手術センター

DaVinci report Vol.1

ロボット支援手術の有用性

- 正確で繊細な手術が可能
- 痛みが軽い
- 傷が小さい
- 出血が少ない
- 機能温存が可能

DaVinci Reportは当院のロボット支援手術の現状と、取り組みについて詳しくご報告します。

ロボット手術センター
のページ



ロボット手術センター で可能な手術

当院でロボット手術を活用する科と対象疾患を
ご紹介します

消化器外科（DaVinci術者3名）

直腸がん
結腸がん

2024年2月より開始しています。
開腹手術が適応になる直腸がん・結腸がんを
除き適応としています。現在まで80例の方に適
応しており、開腹手術への移行例はなく安全に
手術が行えております。

胃がん

2024年7月より開始しています。
これまでの腹腔鏡手術の経験をもとに、手術支
援ロボットを用いて、より制度の高い手術が可
能です。現在まで15例の方に手術を行なってい
ます。

泌尿器科（DaVinci術者3名）

前立腺
がん

2024年1月より開始しています。泌尿器科にと
ってはロボット支援手術は、腹腔鏡より手術が
行いやすく前立腺がんに対して第一選択の術式
になっています。現在まで35例の方に手術を適
応しています。



南大阪病院ロボット手術センター

https://minamiosaka.or.jp/dep-div/robotic_center/

〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋1-18-18

TEL: 06-6685-0221 FAX: 06-6685-5208

